

アスファルト混合物報告書

令和7年2月26日

様

製造会社

所在地 鳥取市南隈835

工場名 共同アスコン

配合の設計条件				
混合物の種別	骨材の最大寸法	基準密度	混合温度	
粗粒度アスコン(20) I型	20 mm	2.392 g/cm ³	168 °C	
空隙率	飽和度	安定度	フローアル	値
5.4 %	67.9 %	9 kg	34	1/100cm
D S 値				
5,281 回/mm				

使用材料及び配合表				
使用材料名	産地名	生産会社	配合率	備考
ストレートアスファルト				
改質アスファルトI型	ラバーフィックス	昭和瀝青工業(株)	4.9 %	
改質アスファルトII型				
石粉	岡山県真庭市宮地	中山石灰工業(株)	4.8 %	
5号碎石	岡山県美作氏巨勢	(株)北部碎石	18.1 %	
6号碎石	岡山県美作氏巨勢	(株)北部碎石	33.2 %	
7号碎石	岡山県美作氏巨勢	(株)北部碎石	16.2 %	
碎砂	岡山県美作氏巨勢	(株)北部碎石	11.4 %	
海砂	佐賀県唐津市	(株)住若	11.4 %	
再生骨材	鳥取県鳥取市南隈	共同アスコン	%	
添加剤()	山口県周南市	出光興産(株)	%	

アスファルト混合物配合設計書

混合物 : 粗粒度アスコン(20)改質 I 型

共同企業体 共同アスコン

室 内 配 合 試 験 目 次

1. 室内配合試験

1-1. 使用材料の産地及び納入業者	1
1-2. 使用アスファルトの性状	2
1-3. 室内配合試験結果	
1-3-1. 混合物配合率及び合成粒度	3
1-3-2. 最適アスファルト量によるマーシャル性状値	3

以下バックデータ

- 常温骨材配合率計算表
- 理論最大密度計算表
- マーシャル安定度試験成績表
- マーシャル安定度試験相關図

1. 室内配合試験

1-1. 使用材料の产地及び納入業者

材料種類	材 質	産地又は品名	納入業者
5号碎石	硬質粘板岩	岡山県美作市巨勢	(株)北部碎石
6号碎石	硬質粘板岩	岡山県美作市巨勢	(株)北部碎石
7号碎石	硬質粘板岩	岡山県美作市巨勢	(株)北部碎石
碎砂	硬質粘板岩	岡山県美作市巨勢	(株)北部碎石
砂	海砂	佐賀県唐津市	(株)住若
石粉	石灰岩粉末	岡山県真庭市宮地	中山石灰工業(株)
再生骨材	0 ~ 13mm	鳥取県鳥取市南隈	共同アスコン
アスファルト	ポリマー改質アスファルトI型	ラバーフィックス	昭和瀝青工業(株)

材料種類	5号碎石	6号碎石	7号碎石	碎砂	砂	再生骨材	石粉
通過質量百分率 (%)	ふるい目						
	37.5 mm						
	31.5 mm						
	26.5 mm	100.0					
	19.0 mm	98.4	100.0				
	13.2 mm	4.7	99.2	100.0	100.0		
	9.5 mm						
	4.75 mm		0.5	98.3	99.9	99.7	
	2.36 mm			0.4	84.5	96.4	
	0.600 mm				29.2	47.8	100.0
	0.300 mm				15.1	12.2	100.0
	0.150 mm				6.8	1.1	97.2
	0.075 mm				3.0	0.3	84.2
比重 (g/cm ³)	表乾	2.680	2.686	2.667	2.656	2.594	-
	かさ	2.653	2.657	2.637	2.605	2.557	-
	見掛け	2.727	2.736	2.719	2.746	2.654	2.720
吸水率 (%)	1.01	1.09	1.14	1.97	1.42		0.12
すりへり減量 (%)	10.4	11.9	-	-	-		-
安定性 (%)		4.2	0.5	1.0	2.7		-
軟石量 (%)	-	-	-	-	-		-
細長・扁平量 (%)	-	-	-	-	-		-
単位容積質量	1.6	1.6	1.5	1.7	1.6		-
粘土塊 (%)	0.05	0.04	0.05	0.00	0.15		-
旧AS含有量							-
旧AS針入度 (1/10mm)							-
最大比重 (g/cm ³)							-
微粒分量試験 (%)							-

1-2. 使用アスファルトの性状

アスファルトの種類	ポリマー改質アスファルト I 型	
アスファルトの名称	ラバーフィックス	
項目	試験値	規格
針入度 (25°C) 1/10mm	60	40以上
軟化点 °C	56.5	50以上
伸度 (7°C) cm	37	30以上
引火点 °C	356	260 以上
薄膜加熱質量変化率 %	0.04	0.6以下
薄膜加熱針入度残留率 %	70	65以上
密度 (15°C) g/cm ³	1.029	1.000 以上
タフネス (25°C) N・m	27	5以上
テナシティ (25°C) N・m	22.4	2.5以上
最適混合温度 °C	160～175	
最適締固温度 °C	150～160	

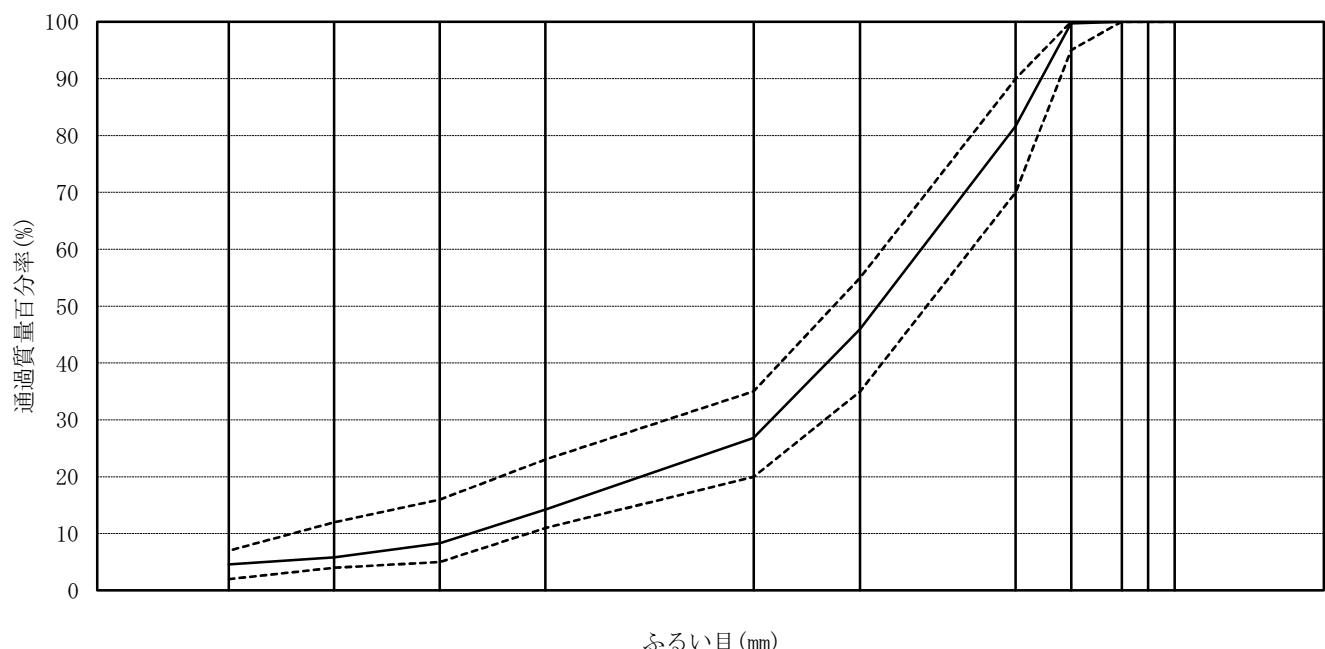
1-3. 室内配合試験結果（粗粒度アスコン（20）改質I型）

1-3-1. 混合物配合率及び合成粒度

材料種類	骨材配合(%)	混合物 (%)
5号碎石	19.0	18.1
6号碎石	35.0	33.2
7号碎石	17.0	16.2
碎砂	12.0	11.4
砂	12.0	11.4
石粉	5.0	4.8
添加剤		
アスファルト	設計 (4.9)	4.9
合計	100.0	100.0

ふるい目(mm)	53.0	37.5	31.5	26.5	19.0	13.2	4.75	2.36	0.600	0.300	0.150	0.075	
通過質量百分率 (%)					100.0	99.7	81.6	45.9	26.8	14.2	8.3	5.8	4.6
合成粒度													
中央粒度					100.0	97.5	80.0	45.0	27.5	17.0	10.5	8.0	4.5
粒度範囲 (%)	-	-	-	100	95 ~ 100	90 ~ 70	55 ~ 35	35 ~ 20	23 ~ 11	16 ~ 5	12 ~ 4	7 ~ 2	

加積粒度曲線図



1-3-2. 最適AS量におけるマーシャル性状値

項目	AS量 %	密度 g/cm³	空隙率 %	飽和度 %	安定度 kN	フロ一値 1/100cm	動的安定度 %
試験値	4.9	2.404	4.9	69.9	9.00	36	5,250
規格値	-	-	3~7	65~85	4.90以上	20~40	3,000以上

室 内 配 合 設 計 バ ッ ク デ 一 タ

合 材 種 類 : 粗粒度アスコン(20)改質 I 型

常温骨材配合率計算

工事名:

混合物種類: 粗粒度アスコン(20)改質I型

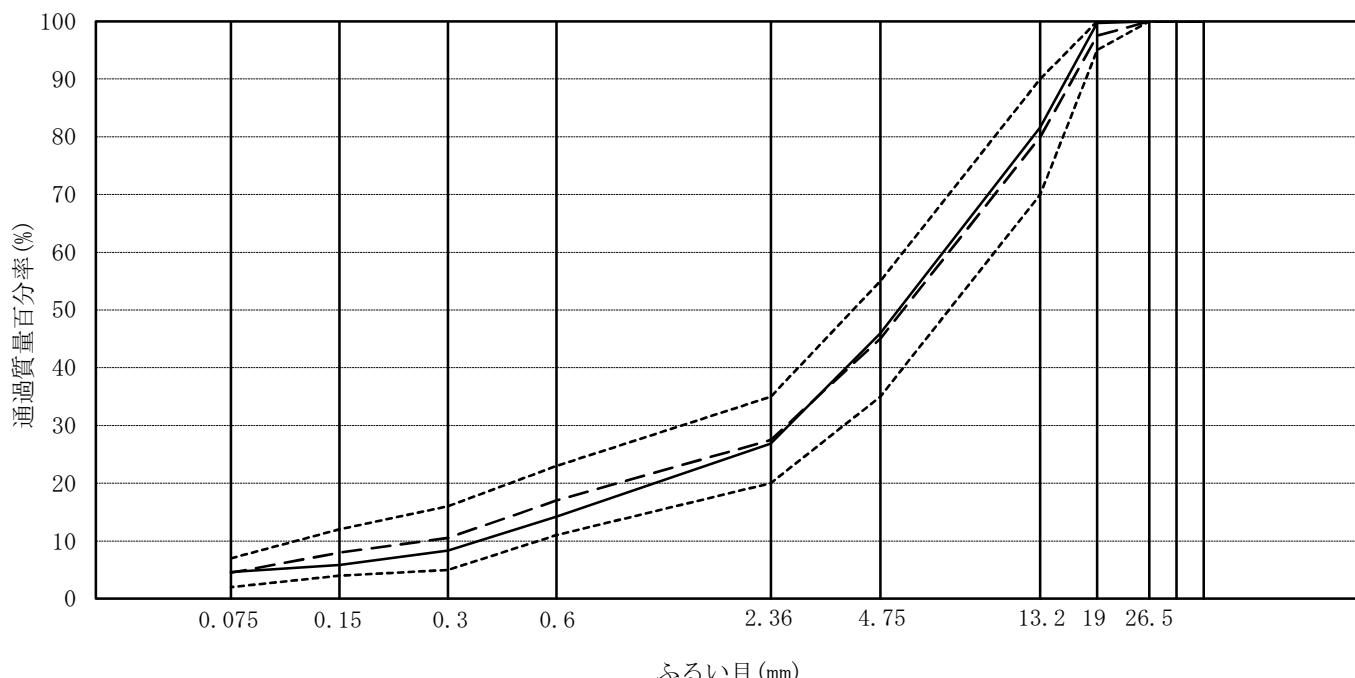
試験日: 令和7年2月

記事: 令和7年度 配合設計

試験者: 繁友芳明

ふるい目		37.5 mm	31.5 mm	26.5 mm	19.0 mm	13.2 mm	9.5 mm	4.75 mm	2.36 mm	600 μm	300 μm	150 μm	75 μm
通過質量百分率 (%)	① 5号碎石			100.0	98.4	4.7							
	② 6号碎石				100.0	99.2		0.5					
	③ 7号碎石					100.0		98.3	0.4				
	④ 碎砂					100.0		99.9	84.5	29.2	15.1	6.8	3.0
	⑤ 砂					100.0		99.7	96.4	47.8	12.2	1.1	0.3
	⑥ 再生骨材												
	⑦ 石粉									100.0	100.0	97.2	84.2
	配合率B	各骨材のふるい目の大きさ別配合率(A)×(B)/100											
① 19.0 %		19.0	19.0	18.7	0.9								
② 35.0 %				35.0	34.7		0.2						
③ 17.0 %					17.0		16.7	0.1					
④ 12.0 %					12.0		12.0	10.1	3.5	1.8	0.8	0.4	
⑤ 12.0 %					12.0		12.0	11.6	5.7	1.5	0.1	0.0	
⑥ %													
⑦ 5.0 %					5.0		5.0	5.0	5.0	5.0	4.9	4.2	
合成粒度	100.0	100.0	100.0	99.7	81.6		45.9	26.8	14.2	8.3	5.8	4.6	
中央粒度	100.0	100.0	100.0	97.5	80.0	-	45.0	27.5	17.0	10.5	8.0	4.5	

加積粒度曲線図



理 論 最 大 密 度 計 算

工 事 名 :

混合物種類：粗粒度アスコン（20）改質I型

試験日： 令和7年2月

記 事 : 令和7年度 配合設計

試験者：繁友芳明

①	②	③			④	⑤
骨材の種類	骨材配合率 (%)	密 度 (g/cm ³)			計算に用 いる比重	②/④
		表 乾	か さ	見掛け		
5号碎石	19.00	2.680	2.653	2.727	2.732	6.955
6号碎石	35.00	2.686	2.657	2.736	2.736	12.792
7号碎石	17.00	2.667	2.637	2.719	2.719	6.252
碎砂	12.00	2.656	2.605	2.746	2.746	4.370
砂	12.00	2.594	2.557	2.654	2.654	4.521
石 粉	5.00			2.720	2.720	1.838
Σ ②=	100.00				Σ ⑤=	36.729

⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	理論最大密度
新A S量 (%)	新A S配合率 (%)	新A S密度 (g/cm ³)	⑦/⑧	Σ ⑤	⑨+⑩	(Σ ②+⑦)/⑪ (g/cm ³)
4.0	4.00	1.029	3.887	36.729	40.616	2.561
4.5	4.50	1.029	4.373	36.729	41.102	2.542
5.0	5.00	1.029	4.859	36.729	41.588	2.525
5.5	5.50	1.029	5.345	36.729	42.074	2.507
6.0	6.00	1.029	5.831	36.729	42.560	2.491
4.9	4.90	1.029	4.762	36.729	41.491	2.528

備 考)

マーシャル安定度試験成績表

工事件名 :
 試験目的 : 令和7年度 配合設計
 混合物種類 : 粗粒度アスコン(20)改質I型
 配合区分 : 室内配合
 バインダー種類 : ポリマー改質アスファルトI型
 試験日 : 令和7年2月
 試験者 : 繁友芳明

骨材加熱温度 : 190 ℃
 バインダー温度 : 168 ℃
 突固め温度 : 155 ℃
 突 固 回 数 : 50 回
 バインダー密度 : (A) 1.029 g/cm³
 力計の係数 : (B) 0.146 kN

試験条件	供試体番号	① アスファルト量 (%)	② 供試体平均厚 (cm)	③ 空重量 (g)	④ 水重量 (g)	⑤ 表重量 (g)	⑥ 積重量 (cm ³)	⑦ 密 度		⑨ 容アスフ ラルト率 (%)	⑩ 空隙率 (%)	⑪ 骨材間隙率 (%)	⑫ 飽和度 (%)	⑬ 安 定 度		⑮ フローア ン定度 (kN)	⑯ 残留安定度 (%)
								中重	中重					力計の読み	安 定 度 (1/100cm)		
標準	4.0	4.0	4.0	1182.3	687.3	1185.1	497.8	2.375						52	7.59	30	
				1180.4	685.2	1183.0	497.8	2.371						48	7.01	28	
				1182.8	693.8	1186.6	492.8	2.400						50	7.30	30	
			平均					2.382	2.561	9.3	7.0	16.3	57.1		7.30	29	
	4.5	4.5	4.5	1186.0	693.6	1188.2	494.6	2.398						59	8.61	32	
				1187.3	692.7	1189.9	497.2	2.388						56	8.18	30	
				1185.8	696.9	1189.3	492.4	2.408						58	8.47	29	
			平均					2.398	2.542	10.5	5.7	16.2	64.8		8.42	30	
標準	5.0	5.0	5.0	1190.8	698.4	1194.2	495.8	2.402						61	8.91	34	
				1191.3	696.6	1193.8	497.2	2.396						61	8.91	34	
				1190.4	700.9	1193.4	492.5	2.417						66	9.64	40	
			平均					2.405	2.525	11.7	4.8	16.5	70.9		9.15	36	
	5.5	5.5	5.5	1196.8	699.7	1199.2	499.5	2.396						62	9.05	42	
				1197.1	702.9	1200.0	497.1	2.408						64	9.34	46	
				1196.6	702.7	1199.6	496.9	2.408						62	9.05	44	
			平均					2.404	2.507	12.8	4.1	16.9	75.7		9.15	44	
標準	6.0	6.0	6.0	1200.2	700.3	1202.1	501.8	2.392						59	8.61	45	
				1202.0	703.5	1203.3	499.8	2.405						62	9.05	48	
				1200.1	699.6	1201.5	501.9	2.391						61	8.91	47	
			平均					2.396	2.491	14.0	3.8	17.8	78.7		8.86	47	

⑥ = ⑤ - ④
 ⑦ = ③ / ⑥
 ⑨ = ① × ⑦ / (A)
 ⑪ = ⑨ + ⑩
 ⑫ = ⑨ / ⑪ × 100
 ⑭ = (B) × ⑬

マーシャル安定度試験相關図

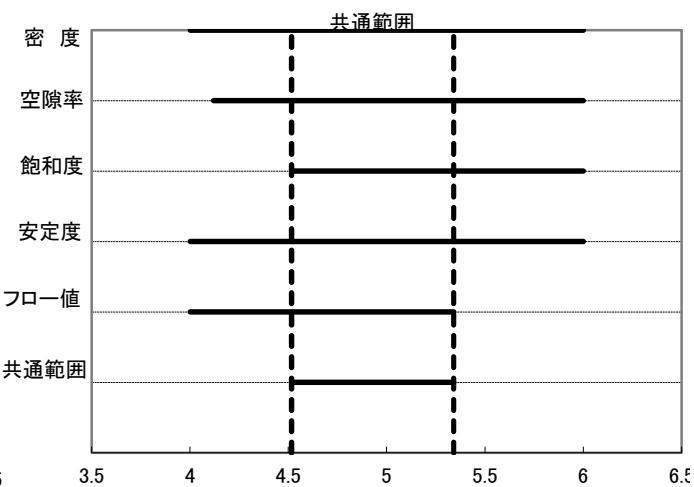
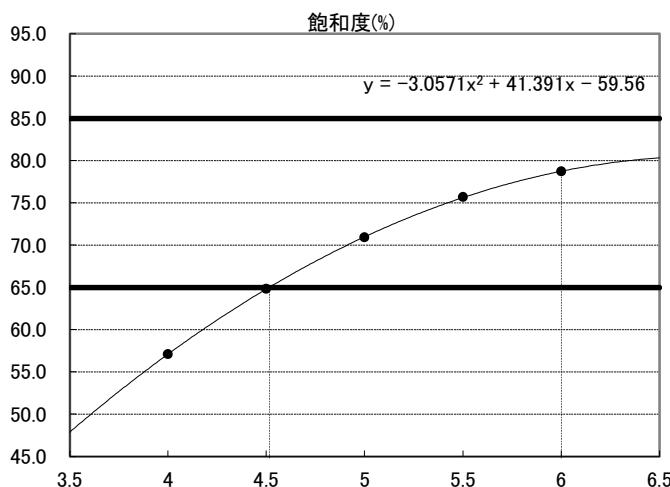
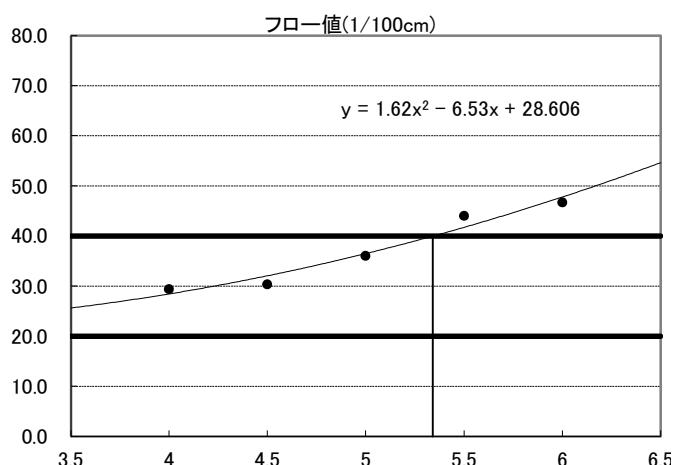
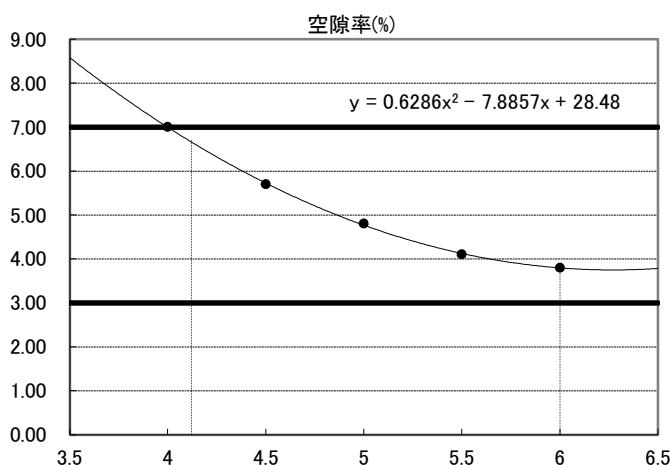
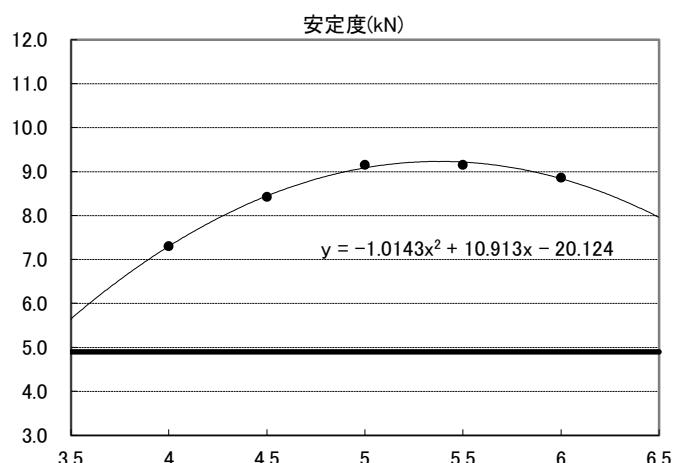
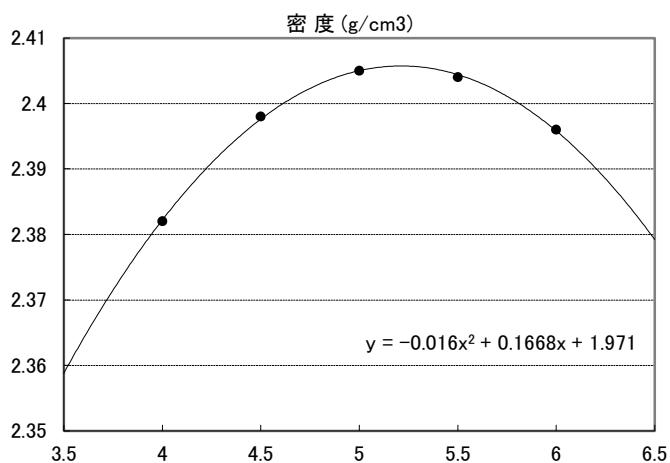
工事名：

混合物種類：粗粒度アスコン（20）改質I型

試験日：令和7年2月

記事：令和7年度 配合設計

試験者：繁友芳明



規格を全て満足する範囲 : 4.52 % ~ 5.34 %
 規格を全て満足する範囲の中央値 : 4.9 %

	ホイールトラッキング試験	
--	--------------	--

調査名・目的：令和7年度 配合設計

試験日：令和7年2月

混合物種類：粗粒度アスコン（20）改質I型 基準密度： $A = 2.404 \text{ g/cm}^3$ 供試体作製場所：(1)室内 2、現場 3、現場切取り 換算係数 $C_2 = 1.0$

上載荷重：70 kg 60°C接地圧：0.63 Mpa 試験温度：60 °C

走行回数：3000 回 走行方法：クランク式 (チエーン式) 換算係数： $C_1 = 1.5$

供試体番号		1	2	3	4	5	平均
① 空中重量 (g)		10684.0	10821.0	10715.0			
② 水中重量 (g)		6252.9	6322.6	6264.0			
③ 表乾重量 (g)		10712.0	10854.0	10736.0			
④ 体積 (cm^3)	③-②	4459.1	4531.4	4472.0			
⑤ 密度 (g/cm^3)	①/④	2.396	2.388	2.396			
⑥ 締固め度 (%)	⑤/A × 100	99.7	99.3	99.7			99.6
走行時間 (分)	走行時間 (mm)	0 (mm)	5	10	15	30	45
		変形量 (mm)	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
			d_1	d_5	d_{10}	d_{15}	d_{30}
			0.00	1.25	1.43	1.56	1.79
				2.34	2.71	2.92	3.46
					2.78	2.96	3.32
			5	10	15	30	45
			形	量			
			⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
			d_{45}	d_{60}	d_{12}	d_{36}	d_{54}
			2.00	2.18	2.00	2.18	2.00
				3.74	3.92	3.74	3.92
					3.57	3.57	3.57
⑭ 変形量の差 (mm)	⑬-⑫		0.18	0.18	0.18		0.18
⑮ D S (回/mm)	$\frac{15}{⑭} \times 42C_1C_2$	X ₁	5250	X ₂	5250	X ₃	5250
⑯ 平均値と差の平方	$(⑯-X)^2$			X ₄		X ₅	5250
⑰ 標準偏差	$\sqrt{\sum (X_i - \bar{X})^2 / (n-1)}$						0
⑱ 记録	記録						0.0
⑲ 変動係数	$⑱/⑯ \times 100$						
⑳ 圧密変形量 (mm)	d_0		1.46	3.20	3.03		
時間-変形量曲線の形状		直線型	直線型	直線型			

備考)

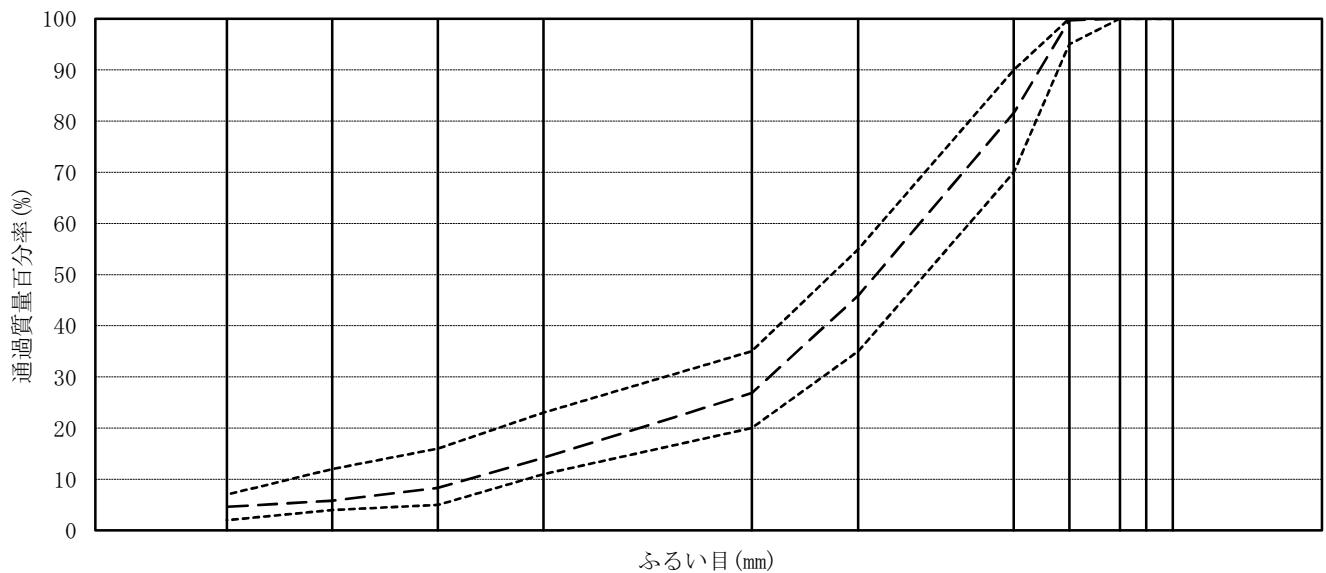
現場配合試験結果

混合物現場配合率及び合成粒度

材料種類	骨材配合(%)	A S 混合物配合(%)	計量値(kg)
IV ビン	21.0	20.0	200
III ビン	33.0	31.3	313
II ビン	17.0	16.2	162
I ビン	24.0	22.8	228
石粉	5.0	4.8	48
アスファルト	設 計 (4.9)	4.9	49
合 計	100.0	100.0	1000

ふるい目(mm)	53.0	37.5	31.5	26.5	19.0	13.2	4.75	2.36	0.600	0.300	0.150	0.075
合成粒度				100.0	99.3	74.9	45.9	28.9	14.8	9.0	6.5	4.6
粒度範囲	-	-	-	100	95 ~	90 ~	55 ~	35 ~	23 ~	16 ~	12 ~	7 ~
				100	100	70	35	20	11	5	4	2

加積粒度曲線図



試験練りにおける混合物性状及び混合条件

試験項目	基準値	規格及び目標値	項目	条件
突固め回数 回	50	50	混 合 能 力 (t/H)	60
A S 量 %	4.9	-	混 合 能 力 (kg)	1,000
密 度 g/cm ³	2.392	-	混 合 時 間 ドライ (S)	8
理 論 密 度 g/cm ³	2.528	-	ウエット	35
空 隙 率 %	5.4	3~7	温 度 骨材加熱 (°C)	190 ±20
飽 和 度 %	67.9	65~85	アスファルト	168 ±10
安 定 度 kN	9.00	4.90以上	混 合 物	168 ±10
フロ一 値 1/100cm	34	20~40		

現 場 配 合 設 計 バ ッ ク デ 一 タ

合 材 種 類 : 粗粒度アスコン(20)改質 I 型

加熱骨材配合率計算

工事名:

混合物種類: 粗粒度アスコン(20)改質I型

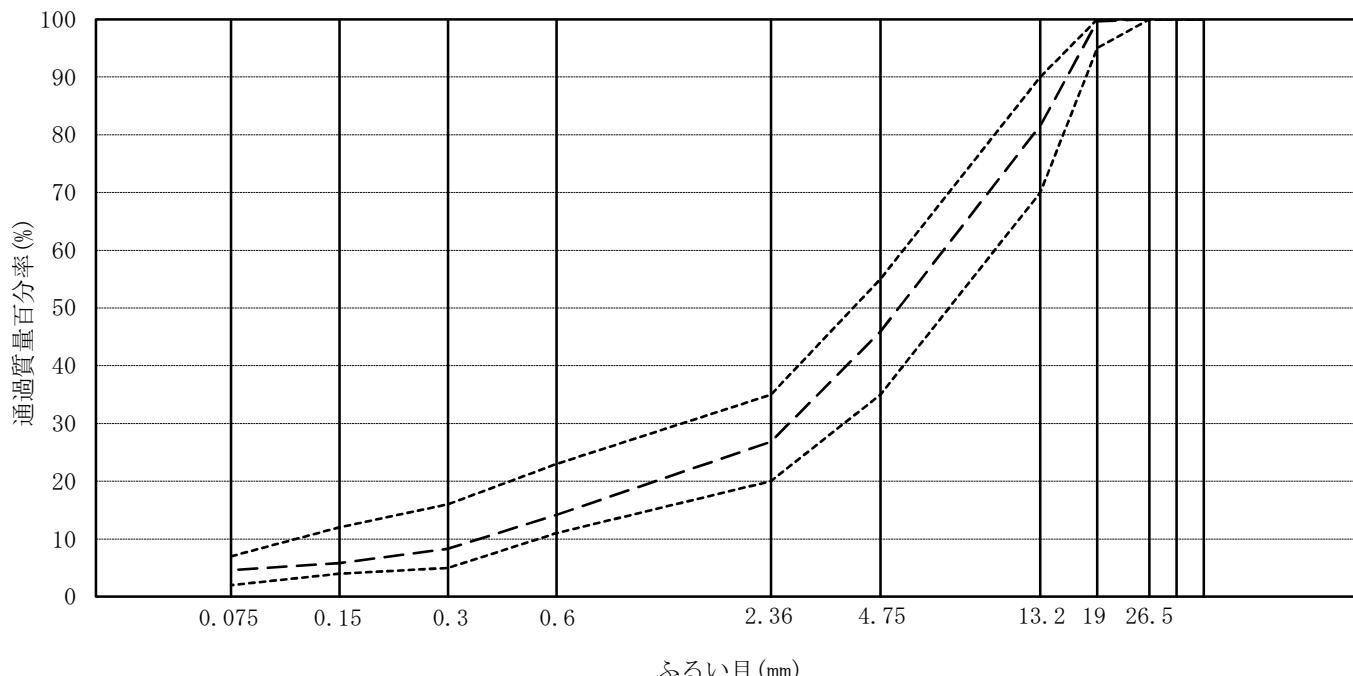
試験日: 令和7年2月

記事: 令和7年度 配合設計

試験者: 繁友芳明

ふるい目		37.5 mm	31.5 mm	26.5 mm	19.0 mm	13.2 mm	9.5 mm	4.75 mm	2.36 mm	600 μm	300 μm	150 μm	75 μm
通過質量百分率 (%)	材料												
	① IV ビン			100.0	96.8	2.5							
	② III ビン				100.0	86.2		2.2					
	③ II ビン					100.0		95.4	2.0				
	④ I ビン							100.0	98.2	40.8	16.6	6.5	1.5
	⑤												
	⑥ 再生骨材				100.0	100.0		86.0	57.7	36.2	22.4	11.0	5.8
	⑦ 石粉								100.0	100.0	97.2	84.2	
配合率B		各骨材のふるい目の大きさ別配合率(A)×(B)/100											
①	21.0 %												
②	33.0 %			33.0	33.0	28.4		0.7					
③	17.0 %			17.0		17.0		16.2	0.3	0.0			
④	24.0 %			24.0				24.0	23.6	9.8	4.0	1.6	0.4
⑤	%												
⑥	%					0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑦	5.0 %			5.0				5.0	5.0	5.0	5.0	4.9	4.2
合成粒度			100.0	99.3	74.9		45.9	28.9	14.8	9.0	6.5	4.6	
基準粒度			100.0	99.7	81.6	-	45.9	26.8	14.2	8.3	5.8	4.6	

加積粒度曲線図



マーシャル安定度試験成績表

工 事 件 名 :

試験目的：令和7年度 配合設計

混合物種類：粗粒度アスコン（20）改質I型

混 合 情 况 : 粗粒度
配 合 区 分 : 珍 堤 配 合

配 合 因 子 : 現場配合
バインダー種類 : ポリマー改質アスファルトⅠ型

試験日：令和7年2月

試驗者：繁友芳明

骨材加熱温度	:	190	℃
バインダー温度	:	168	℃
突固め温度	:	155	℃
突 固 回 数	:	50	回

バインダー密度 : (A) 1.029 g/cm³
 力計の係数 : (B) 0.146 kN

$$\textcircled{6} = \textcircled{5} - \textcircled{4}$$

$$\textcircled{7} = \textcircled{3}/\textcircled{6}$$

$$⑨ = ① \times ⑦ / (A)$$

$$\textcircled{11} = \textcircled{9} + \textcircled{10}$$

$$\textcircled{12} = \textcircled{9}/\textcircled{11}$$

$$\textcircled{14} = (\text{B}) \times \textcircled{13}$$

(D)